

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	こばん		公表日	令和8年 3月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広いスペース、個室もあることから個別の対応も可能です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	ほぼマンツーマンの対応にて手厚い支援が提供できるようにしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		特性に応じて構造化しております。完全バリアフリーになっておりますので、車椅子のお子様も対応可能です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		静養室やパーテーションを設け、場合によっては落ち着ける環境の提供をしております。	今後も清潔な空間を保てるよう努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室やパーテーションを設け、場合によっては落ち着ける環境の提供をしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全職員の意見が聴けるよう、支援会議にて場を設けております。	様々な視点から適切な支援へ繋げられるよう、今後も努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表や面談時にも意見を伺い、業務改善に努めております。	都度いただくご意見や会話のなかからも改善点を見出すよう心掛けていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全職員の意見が聴けるよう、支援会議にて場を設けております。またシートを準備して全職員が書き出し、支援会議にて共有、改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は義務ではないので実施していませんが、自己評価表等をもとに業務改善に努めております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の支援会議にて研修、勉強会を実施。外部研修にも積極的に参加しております。	内部研修、外部研修のほか、虐待防止研修等の受講も行ってまいります。今後も継続して受講し適切な支援に繋げていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		もくば会HPに公表しております。	定期的に見直し、公表していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		普段対応している職員からも聞き取りをすること、一緒に支援をすることで現状把握に努めています。	契約時、面談時、ご相談等にてご本人の様子や保護者のご希望を伺い、分析し、特性を考慮して作成させていただいております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		普段対応している職員からも聞き取りをすること、一緒に支援をすることで現状把握に努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿った支援を提供しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		活動の流れを理解しやすいよう、視覚支援を活用している。また個別教材などのツールを取り入れ、落ち着いて活動に取り組めるよう工夫している。	支援ツールの活用は行っているが、職員によっては使用方法や理解に差があるため、より効果的に活用できるよう共有や研修を行い、支援の質の向上に繋げていくことが課題です。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個々の特性や日々の様子、保護者からの情報等を踏まえながら支援計画を作成している。ガイドラインの視点も意識し、職員間で共有しながら具体的な支援内容となるよう工夫している。	支援計画の作成にあたりガイドライン視点を踏まえているが、職員によっては理解や視点に差があるため、より共通理解を深めながら支援内容の充実を図っていくことが課題です。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		非常勤、常勤問わず全職員で立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		非常勤、常勤問わず全職員で立案しております。そのため内容が固定化されないようになっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの発達段階や特性に応じ、集団適応・社会性の視点を持ちながら作成し、支援に繋げております。	個別活動と集団活動のバランスを意識した支援を行っているが、児童の状況に応じてより柔軟に活動内容を検討できるよう、職員間での振り返りや共有を充実させていく必要があります。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日に予定の組み立てを行い、支援開始前に確認しています。	多機能事業所のため支援確認の時間が少々短いのが課題である。人員増等を視野にいれながら改善に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後や翌日の支援前に確認をしています。	多機能事業所のため支援確認の時間が少々短いのが課題である。人員増等を視野にいれながら改善に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必要な記録をとり、改善に努めています。	検討を重ね、より良い支援に繋げてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		評価の偏りが無いよう、様々な視点から行っております。	定期的なモニタリングを実施しているが、児童の成長や状況の変化に応じた支援計画の見直しが適切に行えるよう、振り返りや検討の機会を充実させていく必要があると感じています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	支援について共有は行っていますが、助言等は受けたことはありません。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	必要に応じて行っていきます。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やサービス提供記録等にてお伝えできるよう努めています。課題等、共通理解できるよう今後も努めてまいります。	より子どもの発達状況や課題について共通理解が深められるよう、情報共有の機会や伝え方の工夫をさらに充実させていくことが課題です。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご相談があった際に行っております。	家族支援プログラムや研修等の機会は十分とは言えないため、今後さらに情報提供や機会づくりを検討していくことが課題です。	
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者との面談や日頃のやりとりを通して意向を確認し、子どもの状況や最善の利益を踏まえた支援内容となるよう工夫しています。	より十分に意向を反映した支援に繋がるよう、意向確認の機会や共有の方法をさらに充実させていく必要があります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談時に行っております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時や随時ご相談があった際に行っております。	より気軽に相談できる環境づくりや支援体制をさらに充実させていくことが課題です。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	現在は行っておりませんが、今後企画していきたいと考えております。	保護者同士の交流や連携の機会については十分ではないため、今後機会づくりを検討していく必要があります。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応できるよう、今後も努めてまいります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月1回のおたよりや法人からの通信で発信しております。	SNSの発信ができるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取り扱いには留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		様々なツールを用いて配慮しております。	今後も支援の質の向上のため、研修や勉強会等を実施していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人として「もくばフェスタ」の開催をしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		防災・感染症等安全対応のためのマニュアルを契約時に配布しております。	随時見直しを行っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		防災・感染症等安全対応のためのマニュアルを契約時に配布しております。	避難計画を策定しており、できるだけ現実に沿った災害を想定し、対応できる訓練になるよう努めてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時、面談時等、随時情報をいただけるようにしております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時、面談時等、随時情報をいただけるようにしております。	保護者からの情報にて対応させていただいております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日頃から環境確認や職員間での声掛けを行いながら安全管理を務めるとともに、計画に基づいた研修や訓練を行い、安全に配慮した支援が出来るように工夫しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者に周知するとともに送迎時や記録等を通して情報共有を行い、家庭と連携しながら子どもの安全確保に努めています。	より理解が深まるよう、情報共有の方法や共有の機会をさらに充実させていくことが課題です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日々簡易的に記載できるものも準備し、職員間で共有、支援会議にて検討をおこなっております。	再発防止に向けた検討や振り返りの機会をさらに充実させ、安全管理の向上に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年1回の悉皆研修と月1回の支援会議にて、支援の検討を常に行い、適切な対応ができるよう心掛けております。	継続的な研修や振り返りの機会を充実させていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事業所内での共通理解を図るとともに、保護者への説明と同意を得た上で支援計画に記載し、適切な対応を行うよう努めています。	適切な対応が行えるよう、職員間の共有や研修等を継続して行っています。	